

済生会山口総合病院 外来医師担当表

平成26年11月1日現在

●各科外来の受付時間は 午前8時30分～11時
 診療開始時間は 午前9時～(曜日等により異なる場合あり)
 急患の場合はこの限りではありません。
 ●都合により代診・休診とさせていただきます。ご了承ください。

診療科名	月	火	水	木	金		
内科 083-901-6102	循環器科	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	小野 史朗 (循環器科)	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	小野 史朗 (循環器科)	國近 英樹 (循環器科)	
	器科	塩見 浩太郎 (循環器科)	國近 英樹 (循環器科)		塩見 浩太郎 (循環器科)	渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)	
		福井 剛 (循環器科)	赤川 英三 (循環器科)		赤川 英三 (循環器科)	福井 剛 (循環器科)	
	腎臓科	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	今井 剛 (腎臓科)	* 藤井 英雄 (循環器・腎臓科)	今井 剛 (腎臓科)	渋谷 正樹 (循環器・腎臓科)	
	※呼吸器科、 神経内科、 完全紹介予約制	血液・内分泌・ 糖尿病科	藤田 直紀 (血液・内分泌・糖尿病科)	村木 和彦 (血液・内分泌・糖尿病科)		村木 和彦 (血液・内分泌・糖尿病科)	藤田 直紀 (血液・内分泌・糖尿病科)
		消化器科	原田 稔也 (消化器科)	佐々木 敏行 (消化器科 胆臓)	花田 浩 (消化器科 肝臓)	佐々木 敏行 (消化器科 胆臓)	白石 龍 (消化器科)
呼吸器科			* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午後2時～)	* 非常勤医師 (午前9時～午後0時)	* 非常勤医師 (午後2時～)	
【専門外来】○神経内科 毎週水曜日 * 古賀 道明医師の診察となります。							
外科 083-901-6107	1診	小林 俊郎 (心血管・一般)	高橋 剛 (消化器・一般)	郷良 秀典 (心血管・呼吸器)	神保 充孝 (呼吸器・一般)	高橋 剛 (消化器・一般)	
	2診	齋藤 聰 (血管・一般)		藤田 陽 (血管・一般)			
【専門外来】○乳腺・内分泌外来 午後0時～午後1時 毎週火曜日 上杉尚正 医師の診察となります。 午後2時～午後3時 毎週金曜日 高橋 剛 医師の診察となります。 ○下肢静脈瘤外来 午前8時30分～午前11時 毎週水曜日 齋藤 聰 医師の診察となります。							
小児科 083-901-6106	1診	* 非常勤医師	休診	* 非常勤医師	休診	* 非常勤医師	
【受付時間】午前8時30分～11時30分 【乳児検診・予防接種】月曜日・水曜日・金曜日 午前10時～11時							
耳鼻咽喉科 083-901-6124	1診	竹野 研二	* 非常勤医師	竹野 研二	竹野 研二	竹野 研二	
	○竹野医師 午前9時～診療開始 ○火曜日 午前10時～診療開始 非常勤医師による診察となります。						
脳神経外科 083-901-6109	1診	湧田 幸雄	北原 哲博	※完全予約制 湧田 幸雄	休診	北原 哲博	
	○北原医師 【受付時間】午前8時30分～10時						
整形外科 083-901-6108 ※初診は完全紹介制	初診	大中 博司 (脊椎・外傷)	三原 修三 (肩関節・外傷)	井上 裕文 (脊椎・外傷)	※完全紹介予約制 岸本 哲朗 (脊椎・人工関節)	大野 晃靖 (手足の外科・末梢神経・外傷)	
	再診	岸本 哲朗	大野 晃靖	大中 博司 (脊椎・外傷)	井上 裕文	三原 修三	
○大中医師 水曜日は午前のみ							
産婦人科 083-901-6122	1診	古谷 信三	* 非常勤医師	古谷 信三	古谷 信三	古谷 信三	
○木曜日は手術日のため午前からのみの診察となります。							
眼科 083-901-6123 ※初診は完全紹介制	1診	休診	* 非常勤医師	休診	* 非常勤医師	休診	
皮膚科 083-901-6110 ※初診は完全紹介予約制	1診	休診	休診	* 非常勤医師	休診	休診	
○毎週水曜日 午前9時～午前11時 非常勤医師の診察となります。							
泌尿器科 083-901-6120	1診	城甲 啓治	大場 一生	城甲 啓治	大場 一生	* 非常勤医師	

* 印は非常勤医師

医療機関の先生方へ

放射線科	放射線科の診療は完全予約制となっております。 放射線科検査についてのご相談は 放射線科 中村 洋 医師まで 083-901-6551	CT・MR・RIIは直接ご予約できます。 CT予約 083-901-6149 予約受付 MR予約 083-901-6151 月曜日～金曜日 RI予約 083-901-6154 午前8時30分～午後6時 (※心筋シンチ・冠動脈CTについては内科・循環器科にご紹介ください。)
栄養科	糖尿病・高脂血症・減塩等の栄養指導、個人指導・糖尿病教室はお電話にてご予約をお受けいたします。 予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時) TEL 083-901-6177	

患者さんご紹介予約は、FAXにてお受けしております。詳しくは地域連携室へお問い合わせいただくか、病院ホームページをご覧ください。
 予約受付(月曜日～金曜日 午前8時30分～午後6時)
 TEL 083-901-6187 FAX 083-928-3357
 E-mail: renkei@yamaguchi.saiseikai.or.jp
 担当 河嶋 裕子

《用語の解説》

★完全予約制…紹介の有無に関わらず事前に予約をお取り頂くことが必要な外来
 ★完全紹介制…予約の有無に関わらず、医療機関からの紹介(紹介状の持参)が必要な外来
 ★完全紹介予約制…医療機関から事前に地域連携室へご連絡の上、紹介の予約をお取り頂くことが必要な外来

「Life～ライフ～」・その他病院に関するご意見・ご要望等は、病院内に設置しております「ご意見箱」にご投函いただくか、病院宛にご郵送ください。

Life No.74

済生会山口総合病院広報誌 平成26年11月10日発行

済生会山口総合病院 〒753-8517 山口市緑町2-11

TEL 083-901-6111(代表) FAX 083-921-0714

どうぞ、ご自由にお持ち帰りください。

Life

ライフ

NO.74

地域医療支援病院
日本医療機能評価機構認定病院



山口県済生会山口総合病院

発行：地域連携委員会 広報チーム
 発行責任者：院長 城甲 啓治
 〒753-8517 山口市緑町2-11 TEL:083-901-6111(代表)

2014年11月号

耳鼻咽喉科 よりお知らせ

11月からの外来診療体制について

診療時間	月	火	水	木	金
診療開始：午前9時～ (火曜日は午前10時～) 受付は午前8時30分～11時	竹野 研二	非常勤医師	竹野 研二	竹野 研二	竹野 研二

大変ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解のほどお願い申し上げます。

医師異動について

退職

お世話になりました

すがた ゆうじ

菅田 裕士

(耳鼻咽喉科)

「三の宮の耳鼻咽喉科」開院(山口市)



着任

11月よりお世話になります

たけの けんじ

竹野 研二

(耳鼻咽喉科)

山口県立総合医療センター より

健康講座

テーマ：タバコと全身の病気



地域の皆さまに、より健康な生活を送っていただけるように毎月1回健康講座を開催しております。参加無料です。お気軽にご参加ください。

日時：平成26年12月18日(木) 午後3時～午後4時

場所：済生会山口総合病院 4階大会議室

講師：内科部長 國近 英樹 (循環器内科)



理念：私たちは地域社会に信頼され、質の高い医療を提供します。

基本方針

- 一、急性期病院として地域医療機関との連携を積極的に推進します。
- 一、良質の医療サービスを提供します。
- 一、目標達成のため自己研鑽につとめます。

患者さんの権利

1. 平等で適切な医療を受けること
2. 尊厳が守られること
3. 医療に関する説明や情報の提供を受けること
4. プライバシーが守られること
5. 自らの意思で医療を選択すること

医療はどう変わっていくべきなのか、地域との連携とは…

これからの医療と地域の連携について

かど た のりみつ
医事課長 門田典三

高齢化が進んでいく現代社会において、医療はどう変わっていくべきか、また、地域とどう連携していくのか、大きな問題に直面しています。

団塊世代の方が75歳以上の後期高齢者となる2025年には、年間死亡者数が約160万人と現在より1.2倍増加する見込みですが、医療機関は大きく増えず、病床数もなかなか増加しません。そこで、「看取り（みとり）」場所の確保が必要になってきます。その場合、介護施設の整備が現在の2倍必要になり、自宅での「看取り」も1.5倍に増加します。さらに在宅医療を担う施設、訪問看護も必然的に整備が必要となってきます。

山口市の人口も将来、減少していきりますが、高齢化率は増加傾向にあります。人口は15年間で約17,000人減少し、75歳以上の高齢者は約8,000人増加する予想になっています。

そこで、国が現在考えているシステムが『地域包括ケアシステム』（下図）です。このシステムは、2025年を目途に「重度な要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けること」が

できるよう、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防・地域包括を一体的に提供するシステムです。

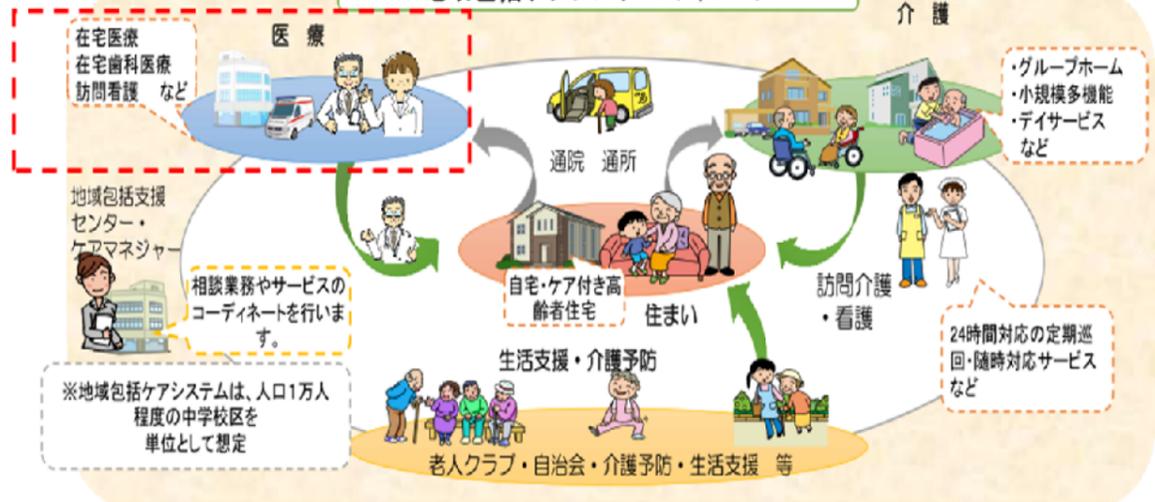
このシステムの中核となるのが医療と介護サービスです。入院から退院そして在宅復帰を通じ、切れ目なくサービスを提供するためには、24時間対応の在宅医療（診療、看護、リハビリ、介護）や、急性期の病院、リハビリ目的の病院、地域の連携病院、かかりつけ医（開業医）が必要となります。

そういった状況の中で当院に求められる役割は、「急性期医療（心筋梗塞、脳卒中等の救急医療）」「手術治療」「専門的な治療（カテーテル検査、高度な機器検査等）」「癌の化学療法・放射線治療」であり、その役割を果たすためには、地域の医療機関との連携が不可欠です。

これからの医療は、「医療機関完結型」ではなく、患者さんを地域全体で支える「地域完結型」への転換が求められます。そのためには「介護サービス」「在宅サービス」「訪問看護ステーション」の整備を充実させ、地域住民の皆さんが安心して暮らしていける街づくりが必要です。

地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムのイメージ



参考：厚生労働省ホームページ 地域包括ケアシステム

麦で、スツキリしませんか?!

便秘やポッコリお腹の改善に!! 食物せんいの多い食事は、血糖値の上昇を穏やかにして、血中脂質の改善、メタボリックシンドロームなど生活習慣病の改善に有効とされています。（食物せんいの摂取量は1日20~25gが目標です。）そこで今回は、食物せんいがたくさん摂れる「麦や蓮根を使ったレシピ」をご紹介します。



麦ごはん・蓮根と大麦のお団子風

麦ごはんの炊き方

《材 料》3~4人分

- ・米 2合 (300g)
- ・水 300cc (米2合分)
- ・大麦 50g
- ・水 100cc (麦の2倍)

《炊き方》

- ① お米をいつも通り洗い、炊飯器に入れて、いつもと同じ水加減にする。
- ② そこへ大麦を加え、麦の2倍量の水(100cc)を入れる。
- ③ 軽く混ぜ、約30分浸水させてから炊飯する。
- ④ 炊き上がったら上下を返すようにほぐす。



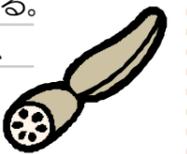
蓮根と大麦のお団子風

《材 料》4人分

- ・蓮根 …200g
- ・合挽 …120g
- ・麦みそ …40g
- ・20分程ゆでた麦…60g
- ・パン粉 …20g
- ・小麦 …20g
- ・卵 …半個分
- ・ごま …少々

《作り方》

- ① 蓮根は2等分して、半分はすりおろして水気を切っておく、もう半分はビニール袋に入れてめん棒で細かくたたいておく。
- ② 蓮根、合挽、あらかじめ茹でておいた麦、麦みそを混ぜ、卵、パン粉を入れて丸型にする。
- ③ サラダ油：ごま油=3：1の揚げ油で、ゆっくり揚げる。
- ④ 最後にごまをふりかける。



※写真はアレンジ例です

職場紹介
コーナー

栄養サポートチーム (NST)



「栄養サポートチーム (NST)」とは、チーム医療として、各職種が専門的な知識と技術を持ち寄ることで、患者さんに適切な栄養管理ができるようサポートを行うチームです。このチームは、医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士と事務のメンバーで構成されています。栄養状態に問題のある患者さんに対して、カンファレンス（話し合い）や病棟ラウンド（回診）を行い、患者さん一人ひとりに応じた解決方法を提案していきます。栄養療法はすべての医療の基本となりますので、適切な栄養管理をすることで、よりよい治療結果につながるようスタッフ一同、精一杯お手伝いをさせていただきます。すべての職員がなんらかの形でNSTにかかわることで、病院全体をレベルアップしていくことが理想です。